

【施設状況】

グループ名称	障害者福祉施設ほたるの里								
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会					法人番号	5100005001689		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	障害者福祉施設ほたるの里								
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	作業室、作業室兼多目的室、静養室、更衣室、事務室兼相談室								
施設設置目的	障害者に対し、日常生活上の支援並びに創作的活動及び生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な支援等を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る。								
基本方針等	平成30年度に就労移行支援事業から生活介護へ事業を移行した経過があり、今後はより重度の障害を持った人の施設利用を想定のうち、支援体制の整備を図る。								
主な実施事業	生活介護事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会			指定回数	1 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和3年3月31日	3年	管理運営開始日	平成30年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
		生活介護	人/日	—	—	11.4	12.3	108%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) ・利用状況は日平均 ・利用登録者数:15名(定員:20人)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・支援法第5条第7項に規定する生活介護の実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	・在宅障害者等タイムケア事業の実施に関する業務							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・自閉症研修、口腔ケア研修、グループホーム見学研修、苦情対応システム研修や手をつなぐ親の会主催の研修などに参加して実地に活かした。家庭向けに通信を出し、行事報告と行事予定をお知らせした。 ・車両2台で、通所利用者への送迎サービスを実施。							

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	4
	(2) 調査、会議等の内容 ・毎週金曜日に当日通所した利用者全員を集めて「コーヒーの会」を開催。利用者が自由に発言できる機会として設けており、利用者から要望等を聴取する。 ・毎日、利用者個人との会話の機会を設ける(3分程度)ことで、利用者の要望、意向等を聴取する。 ・「連絡ノート」を利用者の保護者とやりとりすることで、利用者の体調や状態の変化等を保護者に伝える。		
(3) 調査、会議等の結果 ・利用者から聴取した要望は、施設で実施する事業に出来るだけ反映させるようにしている。また、要望の多かったことについては、事業や行事として実施していく。 ・利用者から、野菜を作りたい、水族館へ旅行に行きたい、えのき栽培をしたい、クッション材(ノバフォーム)を製作したい等の具体的な希望の提示があり、スクラッチアートを買い物同行で購入支援し、活動中それらへの取り組み支援を行った。			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・施設利用者からの要望が多かったことからカラオケハウスに行ったところ、ストレス解消等の効果もあり、利用者から好評を得た。 ・諏訪湖方面へ日帰り旅行や社会見学(古戦場プラネタリウム、NHK)を実施したところ、利用者からの評価は良好であった。 ・地元にある松代福祉寮主催の「かかしコンテスト」に参加。かかし製作に夢中になれたと好評であった。		4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ある職員の職務態度を威圧的に感じると障害の軽度の方から苦情が寄せられた。		
	≪対応措置≫ まじめすぎて冗談も通じないなど感じ方の違いもあったように思えたが、当事者に解決責任者が話を聞き当事者、該当職員、苦情受付担当者・解決責任者の4名で話し合い解決。その後は苦情になっていない。		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入 自立支援給付	85,000 779,000 29,312,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入 自立支援給付	79,400 263,043 24,230,425	歳入	使用料 雑(納付金) <small>行政財産目的外使用料</small> 貸付料 その他 国県支出金	17,628,804	
計	30,176,000	計	24,572,868	計	17,628,804	計	12,915,950		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	25,665,000 871,000 301,000 495,000 524,000 534,000 2,047,000	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	21,836,060 845,075 204,973 118,800 432,782 296,942 1,296,869	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他 扶助費	99,000 23,505,072	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他 扶助費	75,600 17,221,266
計	30,437,000	計	25,031,501	計	23,604,072	計	17,296,866		
自主事業	収入 支出 自主事業損益	620,000 620,000	収入 支出 自主事業損益	210,200 210,200					
損益	359,000		-248,433	差引	-5,975,268		-4,380,916		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								87.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 生活介護 9人(7)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべてで、「3」。1か所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 27

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	3
<p>協定内容・指定管理者提案</p> <p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p>	
<p>・松代東条18区の法人会員として登録されている。 ・地区で実施する(蛭川沿線)の草刈りに先立ち、当施設隣接箇所の草刈りを行っていることに対し、「足場を刈っていただき感謝する」として、地区から謝意が示されている。</p>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点		64	

評価理由	<p>4 事業収支におけるマイナス決算は、平成30年度から就労支援事業から生活介護へ事業移行して2年目であるが、施設利用において定員割れにより利用率が低かったことが影響したものと考えられるため、前年度より利用者増となっていて好転することが推測される。</p> <p>事業移行後は従前より重度の障害を持った人が施設利用しているが、3 利用者評価の「利用者要望把握」については、利用者全員で集まって自由に発言する機会を設けるほか、毎日利用者個人との会話する機会を設けており、施設利用者が支援員に対して要望を伝えやすくするための機会設けている等、施設独自の工夫が見られることから評価を「4」とした。</p>
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	平成30年度から新たに生活介護事業所として開所した施設であり、特段の課題はまだありません。		

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<p>・平成30年度に生活介護事業所として開所して2年目ですが、施設利用者は定員割れとなったため、施設のPR、施設立地に伴う通所に係る困難等を含め、施設利用者の確保、利用率の増加を図るための方策と工夫は必要と考えられる。</p>
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・利用者一人ひとりの心身の状況に応じ、より自立的で安心した暮らしが出来るように日中活動のサービスを適切に提供している。
- ・利用者の個々のニーズに添った個別支援計画を策定し、利用者の意思及び人格を尊重し常に利用者の立場に立った支援に努めている。
- ・利用者や保護者のニーズに応え、送迎サービスを実施している。
- ・看護師を配置し、日々の体調管理や健康把握に努めている。
- ・個別のニーズや多様な障害特性に対応した支援が行えるように、研修会に参加し職員の資質向上に努めている。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・法人内のネットワーク環境を整え、情報を共有するとともに、関係機関と連携し、迅速な対応が出来るようにしている。
- ・会計ソフトを導入し、法人本部の管理のもと、適正な処理をするとともに、経費削減や業務の見直しをしている。
- ・職員間の連携をもつため、ホワイトボード等を活用し連絡ミスを防いでいる。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・平成31年度は利用者数が定員割れとなっており、平均利用率が61.5%であったため、利用者の確保が課題となっている。
- ・交通面等のアクセスに不便な点があり、送迎が必須となっているため、公用車や送迎体制の確保が課題となっている。
- ・平成30年度から事業及び事業所名を変更したため、関係機関や地域に知っていただく必要がある。
- ・屋根の塗装について検討をお願いしたい。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・事業移行後、2年目となるが定員割れとなり、平均利用率が61.5%であったことによる。(昨年度は57%)

② 次年度以降の取組み

- ・養護学校からの実習生の受入れや関係機関との連携を図り、新規利用者の確保に努める。
- ・利用者やご家族のニーズに寄り添い、安心して1日過ごしていただけるように日々の支援を重ねていく。
- ・利用者の要望に応じた作業の提供や余暇活動、生活支援等、利用者の楽しみや健康管理を含めたサービス提供を行っていく。
- ・多様な障害特性や個別のニーズに応えられるよう、更に職員の資質向上を行う。